

# 足利風 -ashikaga-fu

2013  
2月号  
Vol. 24



画:永倉 功

## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* スティーブ・ジョブズの遺したもの \*

スティーブ・ジョブズ(コンピューターメーカー・アップル創業者)が、2005年にスタンフォード大学で行ったスピーチは、「Stay-Hungry, Stay-Foolish」(ハングリーであれ！ 愚直であれ！)という名言とともに、J. F. ケネディ大統領やマーティン・ルーサー・キング牧師の歴史的な、人々に感動を与えた演説に並び称されている。

スティーブ・ジョブズにとって、マーケティングとは価値の話だった。彼は、自分自身の物語や自分の核にあるものを、明確かつシンプルかつ首尾一貫した形で伝えることをめざした。彼は、リーダーシップの条件とは、スタッフの末端にまで、その組織の共通のビジョンを提供し理解させることだ、と語った。

スティーブ・ジョブズがわれわれに希望を与えるのは、「新しい組み合わせ」を語る時だった。かつて日本でも、デザイン戦略コンサルタント・中西元男さんが「新しいモノがゼロから生まれることは1%。99%は、いつも私たちの目の前に見えているものの新しい組み合わせ方によって生まれる」と語った言葉と重なり合うものだ。われわれ凡人たちに勇気を与えてくれる。彼は、大学にも通わず、出自も複雑なものだったが、世界の価値観を変えてみせた。

陸前高田市や南三陸町の東日本大震災被災地の仮設住宅に、“隣人(となりびと)”として寄り添うことしかできないが、足繁く通っているが、そこで耳に入るのは、絶望的な胸の奥からの嘆きの声だ。しかし、それでも、何人かの青年たちから、スティーブ・ジョブズを通しての前向きな希望の声を聴くことができた。真のファンリテーターは、他人の心に灯をつける、そして低い声やつぶやきを集めることができる。彼の面影と二重写しになった。(M生)

## \* 「子どもは参加+大人は支援」のわいフェス報告 \*

足利っ子わいわいフェスタ(以下わいフェス)は今回も11月3日文化の日に足利市民プラザを借り切って行われ、子どもから大人まで1500人が集いました。今回で8回目を数えるわいフェスは、新しく自由工作ルームという企画が実現。その名の通り、自由に心行くまで工作に没頭できる空間は終日大盛況でした。また子ども実行委員が企画し、当日ボランティアの中高生たちが活動を手助けしてくれた被災地募金は、たくさんの方々のご協力でその募金をちょうど足利にいらしていた宮城県山元町りんごラジオの齋藤緑さんに子ども実行委員とボランティアの中学生の手で直接お渡しすることができました。

わいフェスは開催当初から「子どもは参加+大人は支援」をコンセプトに「子どもと大人の真のパートナーシップ」を目指し開催していますが、今回は11月3日だけでなく1年を通して様々なことにも挑戦しました。

4月は谷川俊太郎・賢作わいわいコンサートの企画運営。6月はハイスクールライブ館の企画。7月は子どもにやさしい市民養成講座を足利市学童保育連絡協議会と共催。そしてこの講座から誕生した子どもにやさしい市民は今回のわいフェスを支えてくれました。8月は足利の子どもたちによる足利短編映画制作ワークショップの支援。そこで完成した映画を、制作した子どもたちがわいフェス当日でも上映しました。128名もの人たちが鑑賞してくれました。足利っ子わいわいフェスタ実行委員会は次回も「子どもは参加+大人は支援」をコンセプトに11月3日を大切にしながら、その日を飛び出して新しいことにも挑戦していきたいと思えます。

参加することも支援することも楽しいですよ。子どもも大人もわいフェスに興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております。

足利っ子わいわいフェスタ実行委員会  
事務局次長 三田 和子  
Tel0284-42-8616 さくらエルマー学童くらぶ内

## \* 森づくり活動から被災地復興支援へ \*

～澤口 信男～

“ボランティア活動”に縁も関心も無かった私ですが、薪ストーブの薪調達がきっかけで「森林ボランティア」に興味を持ち、市民活動支援課の「中高年のボランティア体験講座」を受講、体験プログラムで団体を紹介頂き活動を開始しました。



更に、森林環境に関心が高まり、緑化推進、里山整備、自然ふれあい活動等、県内各地の講座や活動に積極的に参加をしました、特に“森づくり活動”は、植樹、下草刈、間伐等の体力の要るキツイ作業ですが、無理はせず心地よい汗と充実感が爽快で、そして何よりも日常の会社勤めでは有り得ない人との出会いや交流がとても楽しみです。

そして、3.11東日本大震災後、「がんばろう東北！応援プロジェクト足利風」の復興支援活動へ参加、実際に目で見る震災後の風景はあまりに衝撃的でしたが、瓦礫の撤去と分別、側溝の泥だしや土嚢詰め等、地道な体力作業は“森づくり”と共通し自分には向いていました、また同じ思いを持った人との出会いや一緒に汗を流した仲間との再会も励みになり、現地の方との交流では逆に励まされ感激することもありました。復興支援活動には今後も関わっていき、津波で流された森林の再生にも関心があります。

実は、“ボランティア”って言葉は照れ臭くてあまり好きではないですが、仲間との“つながり”、そして達成感を楽しむ“趣味の活動”として生涯続けて行こうと思います。

---

## \* 足利PTA・OB会とは \*

上武 敬和

『足利PTA・OB会』は、PTA会員として培った知識と経験を生かし、子育て環境や教育環境のさらなる充実を願い、すべての子ども達の幸福な成長に寄与することを目的に活動しています。

PTA会員として、学校及び先生方と協力をしながら「人を育てる活動(PTA活動)」のお手伝いをしてきました。その活動は我が子の卒業と同時に終わるものではなく、本来は生涯にわたり続けるべき活動であると思います。しかしながら、母体となる組織がないため、個人の力では継続した活動が困難な状況にありました。そこで、志を同じくする有志が集まり、2012年4月に会を発足して活動を始めました。

活動内容は、1. 各PTAのサポート。2. 学校支援ボランティア。3. 学校図書を考える。4. 学校給食を考える。5. 学校部活動を考える。6. 防災共育のサポート。7. 土曜補習授業のサポート。以上の7つです。24年度は、防災共育ワークショップのお手伝いが主な活動になっています。4つの中学校で計12回の授業に参加させていただきました。

これからも会員の力を結集し、見識を高め、子ども達の可能性を引出し、その夢の実現のために少しでも力になれるように、息の長い活動をしていきたいと考えています。

## ① インフォメーション ①

### ☆ ワールドカフェあしかが

～みんなで、元気なまちづくり～

日 時：平成 25年 2月 2日(土) 午後 1時 30分～ 4時 00分

会 場：足利市生涯学習センター101号室

内 容：講話 13:35～14:30

演題:「市民大学のある街～恩返しから恩送りへ～」

お話:橋爪光年さん(ジョウモウ大学 学長)

交流会:(ワークショップ) 14:40～16:00

※ 詳しくはチラシ・HP をご参照ください。

### ☆ みんなのしゃべり場

「桜の樹の下でみんなとワイワイ話そう！」

日 時：平成 25年 4月 6日(土) 午後 1時 30分 ～ 3時

会 場：足利市民活動センターの庭

(雨天の場合は3F フリースペース)

※ 詳しくはチラシ・HP をご参照ください。

### ☆ 平成25年度のロッカーとレターボックスの利用者募集！

※希望される団体等は、平成25年3月15日までに活動センターまで、お申し込みください。なお、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場 ～ 2月・3月のご案内 ～

\* 東日本大震災2周年展(2月4日～14日)

\* 郷土のひな人形展(2月18日～28日)

\* こんしん行脚展 ーあのね！母さんー (3月4日～14日)

\* 足利風表紙原画展(3月18日～28日)

### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

### 編集後記

長い冬もいよいよ終りに近づいてきました。

梅や桃も、蕾を付け春が来るのをとても待ちわびています。そして、春は出会いと別れの季節… 皆さんにも素敵な出会いが訪れますように！ (コッペ)

# “ 講座・相談室のご案内 ”

## 【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
2/13(水)	高齢者福祉なんでも相談室	永島 徹さん <small>(独立型社会福祉士事務所「風のささやき」代表)</small>
2/27(水)	あなたの子育て応援します	大島 裕子さん <small>(あしかが子育て応援ネット代表)</small>
3/13(水)	中高年の 地域デビューはじめての一步	鈴木 光尚さん <small>(NPO法人足利NPOフォーラム代表理事)</small>

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

## 【講座】

日時	講座名
2/21(木)	「絵手紙ことはじめ～花地蔵のところで～」
	講師：小林生子(絵手紙作家・前橋市)さん
3/14(木)	「ことばと書のコラボレーション～あのね、母さん～」
	講師：阿羅こんしん(書表現作家・立川市)さん

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
2/4(月) ~2/14(木)	東日本大震災2周年展	鈴木 光尚さん
2/18(月) ~2/28(木)	郷土のひな人形展	牛山 喜人さん
3/4(月) ~3/14(木)	こんしん行脚展 -あのね!母さん-	阿羅こんしんさん
3/18(月) ~3/28(木)	足利風表紙原画展	永倉 功さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場  
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝